

子供が自らのよさや可能性に気づき、自己肯定感を高める エール・ウィークを実施します

先の見通しがもちづらいコロナ禍の中で、漠然とした不安や深刻な悩みを抱える子供の増加が懸念されています。今こそ、全ての教職員が一丸となって、様々な困難の中で生きる子供たちのありのままの姿を価値付けるとともに、そのよさや努力、成長を見付け、学校の全ての子供一人一人にエールを贈りましょう。あなたの一言が、子供の元気や生きる意欲につながります。

ねらい

- (1) 児童・生徒理解の深化を図る。
- (2) 児童・生徒が、様々な困難の中で生きるありのままの自分を認めるとともに、自らのよさや可能性に気づき、自己肯定感を高めることができるようにする。

教師としての力を高める契機となります。

実施期間

第1期 令和3年8月～9月

第2期 令和4年1月

※ 各学校等で長期休業日明けに実施している見守り等の活動と関連付けながら、上記期間を目安として適宜、1～2週間程度実施

実施方法例

2 見付けたよさ等を全ての子供一人一人に直接伝える

可能性を広げる

Aさんに班長を行かせたら自信がつくのでは…

NG Aさんは消極的だから班長は無理だな…

よさを見付ける

英語の発音が上手になったね。家でも練習を頑張っているようでうれしいよ。

NG どうせ、できないだろう。

励ます

今月は遅刻がたった3回だったね。来月はもっと減らせると思うよ。

NG また、遅刻か。

かかわる

大丈夫？眠そうだね。何か心配なことがあって眠れなかったのかな。

NG Bさんは居眠りばかり。やる気があるのか。

タイミングよく

心の底から

具体的に

ほめる・認める

掃除の仕方が丁寧だね。おかげで私もクラスのみんも気持ちがいいよ。

NG 掃除するのが当たり前。

1 教職員が小さなサインも見逃さないよう、一人一人の状況を把握する

何を

よさ

努力

成長

心身の健康

不安や悩み

交友関係

興味・要求

学力、身体的な能力

性格的な特徴

家庭環境（家族の人間関係、雰囲気） 成育歴

どうやって

直接、子供と対話して

集団の中での関わりを見て

面接やアンケートをして

観察したことを記録し、教職員同士で共有して

清掃活動

休み時間

登下校時

授業中

部活動

朝・帰りの会
朝・終学活、SHR

学校行事

上記吹き出しの内容は、「自信 やる気 確かな自我を育てるために 子供の自尊感情や自己肯定感を高める指導資料【基礎編】」(平成23年3月 東京都教職員研修センター)から引用